

## 大野西小学校

【教科】総合的な学習の時間

【学年】第4学年

【育成を目指す資質・能力】思考力・判断力・表現力等

単元名

## 「大野のステキを見つけよう」 ～大野の自然を守る人から探ろう～

【関連のある SDGs の目標】



## 【単元の目標】

自分たちが住んでいる町の自然について知ることを通して、自分たちの住む町のよさについて考え、これらの自然を大切にしようとする態度を育てる。

## 【連携諸機関・人物】

・廿日市市役所（環境政策係）

## 活動の概要

児童は、1年間を通して、自分の住んでいる大野のステキをさまざまな視点から見つけていく。1学期は、さまざまな方法で調べることを通して、毛保川を中心に大野の自然の良さを見つける。毛保川に住む生き物について情報収集し、実際に毛保川上流の探索をしたり、環境を守る方たちの話を聞いたりした。活動を通して見つけた大野の自然のステキを、新聞にまとめ、校内に掲示した。

## ★アピールポイント★

- ・活動の特色 ・授業展開や学習形態、教材等の工夫 ・地域人材、財産等の活用
- ・児童生徒の心を揺さぶる仕掛け ・他教科等との関連 ・ICTの効果的な活用 等

- ・導入段階で**イメージマップを用いて**大野の自然について思いを広げることで、関心を高めた。
- ・探索に行く前に川の生き物について**タブレットや図書を活用して情報収集**をしたことで、より多くの情報を集めるために実際に探索に行くことへの意欲が高まった。
- ・新型コロナウイルス感染対策のため探索が延期になった際には、**環境政策課の方に採集していただいた生き物を使う**ことで、校内でも実際に生き物を観察することができた。
- ・観察やゲストティーチャーの話を通して、児童が想像していた以上に大野の川には多様な生き物がいることに気付くことができた。
- ・実際に川の生き物や水に触れ、大野の自然を体感することで、生き物の住む場所や採り方など**体験することでしか得られない情報を得る**ことができた。
- ・まとめる段階で、**国語科「みんなで新聞を作ろう」の学習と関連付け**、伝える内容の選別やレイアウトを工夫し、毛保川についての新聞記事を書く活動を行った。
- ・**新聞を校内に掲示する**ことで、いろいろな学年に読んでもらうことで達成感を得られるようにした。



## 児童生徒の姿（○）、振り返り（◇）

- 身近な自然に改めて目を向けることで、大野の自然のよさや自然を守ることの大切さに気付くことができた。
- インターネットや図書、体験活動など、様々な方法での情報収集により、児童自身の知りたいことを深めていくことができた。
- ◇たくさんの生き物が住んでいるのが分かって、これからも大野の自然を大切にしようと思った。

